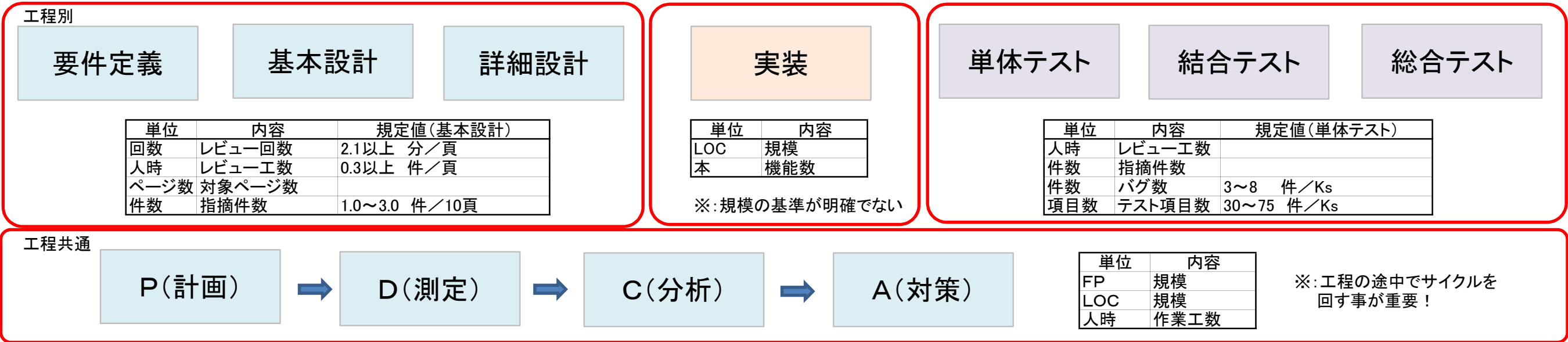


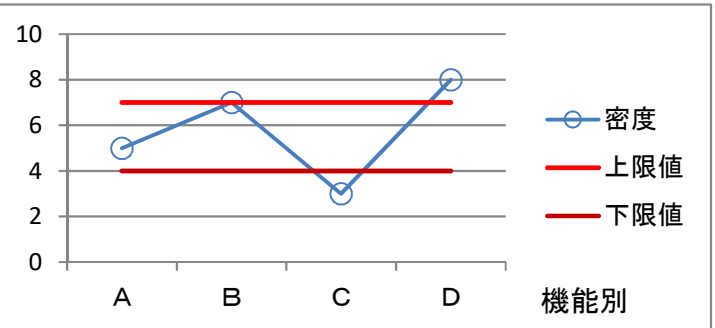
<概要>

- ①本来の目的 → 品質問題を早期に発見し、余裕を持って対策を実施すること。データを“開発の途上で活用”する事が重要。
②定量品質管理では、指標値は”代替指標”でしかない。なので、“傾向”や“過去データとの比較”が重要になる。 ← 基準を明確に且つ統一しておく事が重要。



<代表的な分析モデル>

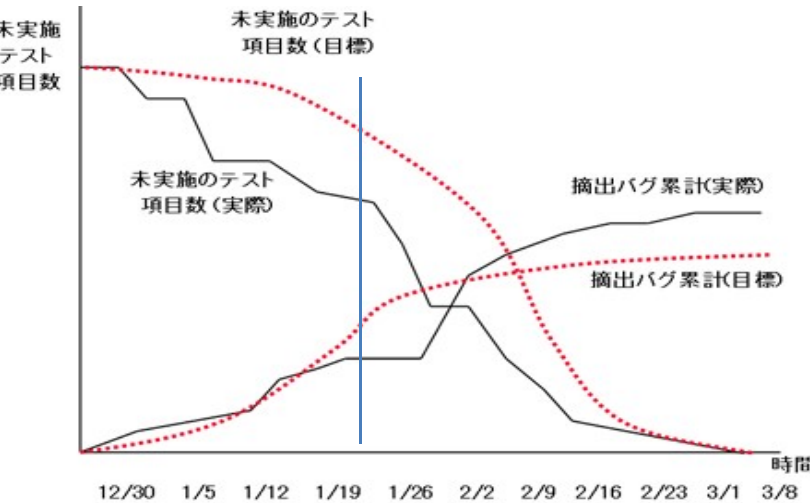
1. 管理図分析(閾値モデル)
データ分布が上限/下限値に対し、何処にプロットされるかで分析



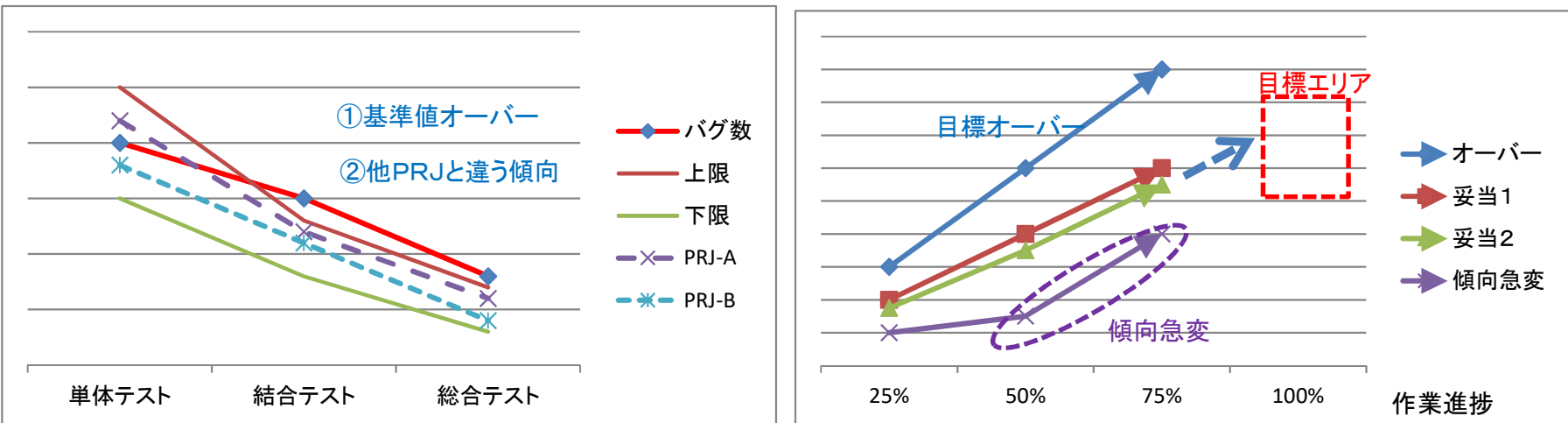
2. ゾーン分析(ゾーンモデル)
指標値により何処のゾーンに入るかで傾向を分析



3. 曲線近似分析(回帰モデル)
二つの指標値の関係を回帰式で分析



4. トレンド分析(トレンドモデル)
サブシステム間や過去のプロジェクトの例と比較する。又は、傾向から将来を予測する。



5. チェックリスト分析(チェックリストモデル)
チェック項目を設定し対応状況を分析

サンプルは省略

